

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



小川中学校は講演後、生徒会を中心に自ら支援活動を始めました。

「緑のサヘル」との出会い

今となっては30年近く前、「サヘル」の意味も全く知らない頃に、同僚から「環境問題や国際交流・援助を行っている方の講演会があるよ」と誘いを受けた。その際に、スライドを数枚写しながら活動の様子を話して下さったのが、現在の事務局長の菅川氏であった。講演内容の衝撃は今でも記憶に新しい。現地の人々が、生活の糧としている水や薪を得るために多くの時間と労働を費やしていること、市場で植えた木が数年後には見事な木陰を作っていること、全てが新鮮であり、驚きであり希望であった。

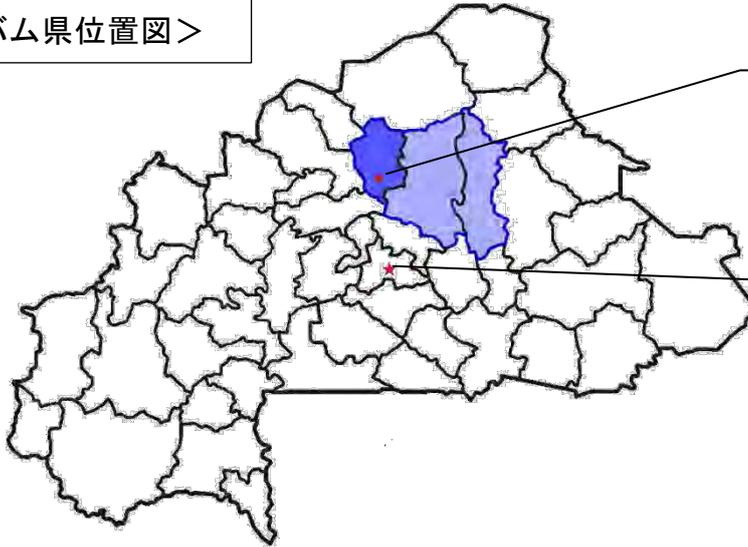
以降、講演会を様々な形でお願ひしたが、アフリカで活動を展開している方々の話を伺い、交流したことは生徒にとっても大きな経験であった。生徒個々の能力は様々であり、興味関心や特性もバラバラである。しかし、その子供の能力を芽吹かせるスイッチを押さなければ才能は開花することはない。子供たちがどこで何と出会い、人生をどう開いていくかはわからない。生徒の心に蒔いた種は高校進学と言った直近の目標にも繋がるかもしれないし、あるいは人生の峠をとうに越してから花開くかもしれない。

いずれにしても「緑のサヘル」の講演会及び支援活動」がその種の一粒であると思ひ、生徒との出会いの場を設けてきた。「緑のサヘル」の実践や活動を聴き、心揺さぶられる子供達は本当に多い。その出会いがいつかどこかの人生の場面とつながり、より深みのある充実した人生を送る生徒が育つことを願ひ、これからも「緑のサヘル」の活動を応援しつつ、毎年の講演会を楽しみにしていきたい。

岩泉町立小川中学校 副校長 佐々木 由貴子

ブルキナファソの活動地域図

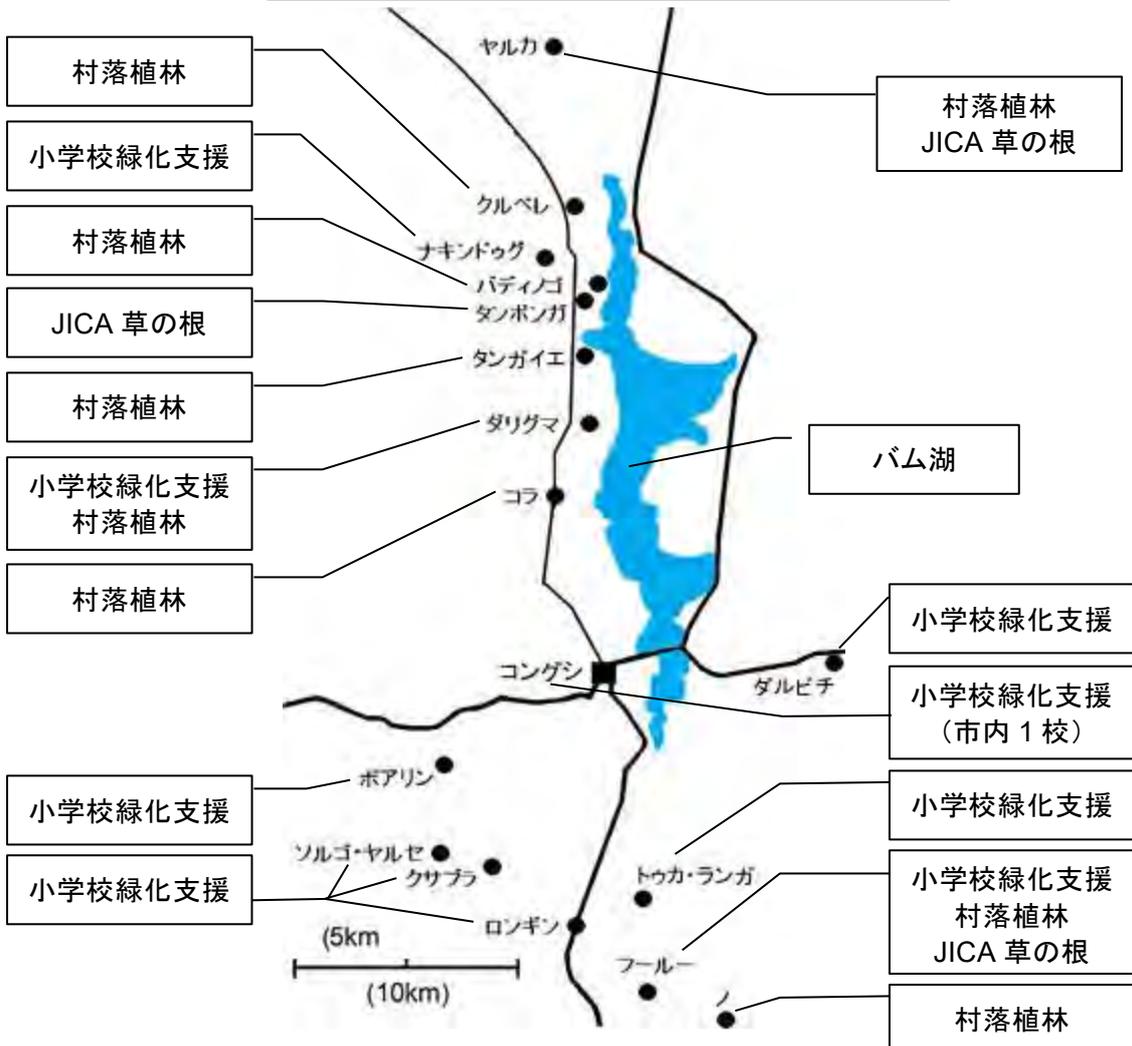
<バム県位置図>



バム県
コングシ市

首都ワガドゥグ

<バム県コングシ地域活動実施村位置図>



ブルキナファソから 1



ブルキナファソでは、乾季がピークを迎えています。また、5月6日からイスラム教の断食月（ラマダン）が始まりました。日中の気温は40度を超えるにも関わらず、飲食に制限があるのはかなりの負担になります。それでも、朝や夕方の涼しい時間を見計らって、住民は農作業を行なっています。

JICA 草の根技術協力事業

<ザイ農法・堆肥>

活動を行っている3村では、雨季栽培に向けた農作業が始まっています。

栽培地にザイ穴（雨水が流れ込みやすくするための穴）を掘ると共に、自分たちで作製した堆肥を投入する作業を行なっています。

ザイ穴は1haあたり31,250穴を掘ることになっています。現地の栽培地の面積は、平均で2ha、広いと4haにもなります。家族総出では間に合わず、友人や知人にも手伝ってもらいながら、穴掘り作業を進める住民も大勢います。今年の雨季も、順調な降雨に恵まれることを願っています。



ザイ穴掘りには、女性たちも参加します。
(ヤルカ村)

<家畜飼育・販売>



8月の販売に向けて太らせています。
(ヤルカ村)

羊が必須といえるイスラム教の「犠牲祭」は、今年は8月上旬になる見込みです。この「犠牲祭」に向けて、高値で販売するべく、女性たちは、販売用の羊を太らせる作業（肥育）に取り組んでいます。

大きく、そして肉付き良く育てるためには、餌を工夫しなくてはなりません。通常は、草やぬかが中心ですが、肥育期になると油粕を与えます。

油粕は、これまでは、ブルキナファソ南部で生産されている綿実の搾りかすを利用することがほとんどでした。この搾りかすは、商店で購入することができます。これに加えて現在では、3村で行なわれている搾油活動で生じるシアの実の搾りかすも利用できるようになりました。女性たちの活動が、うまい具合につながり、喜んでいます。

ブルキナファソから 2



小学校緑化支援プロジェクト

地域の小学校 10 校が、校庭緑化活動に取り組んでいます。2018 年に行なわれた各校の取り組みを評価するため、環境局と教育局、協力団体による調査が行なわれました。

ただ、実施間際になって、教育関係者によるストライキが行なわれたため、実施が遅れてしまいました。評価に際しては、植栽された苗木の成育状態を視察するだけでなく、校長や担当教員から聞き取りを行ないます。なぜなら、学校としての取り組みを評価するためには、責任者の見解や意見を知ることが重要だからです。



各校を訪問し、取り組みを評価する環境局と教育局の職員。（クサブラ小学校）

幸いにも、ストライキは長期に及ぶものではなかったため、わずかな遅延で評価活動を実施することができました。

チャドから



食料事情は、まだ安心できる状況です



サツマイモは、盛り土の上に穂をさして、栽培されます。（バイリ村、1997 年）

中部と南部の 7 州で、穀物の備蓄量が少なくなってきたため、3 月以降、食料事情が厳しくなり始めています。ただし、これらの州では、不足分をイモ類（サトイモやサツマイモ）で補えており、急激に悪化することは無さそうです。

それ以外の 13 州では、備蓄量に余裕があるため、食料事情に変化は生じないだろうと予測されています。

例年であれば、サヘル気候区に属する北部の諸州では、食料事情がかなり厳しくなってくる時期です。しかし、幸いにも昨年の収穫量が良好であったため、今年はまだ余裕があります。とりあえずは安心できる状況ではあるものの、食料確保が生産に大きく左右されている点が気がりです。

国内活動



今期は、(公財)国際緑化推進センターが主導する「途上国森林再生技術普及事業」の運営委員会に出席したほか、神戸大学国際人間科学部で講義を行ないました。また、3月28日の設立記念日をもって、「緑のサヘル」の活動は28年目を迎えました。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

2月	27日(木)	ニュースレター No.77 発送開始		(事務局)
3月	15日(金)	「途上国森林再生技術普及事業 第3回 事業運営委員会」 (主催：公益財団法人 国際緑化推進センター)	出席	(岡本)
	28日(木)	緑のサヘル 設立記念日	—	—
4月	20日(土)	2019年度 理事会・正会員総会	開催	(事務局)
	25日(木)	神戸大学 国際人間科学部 講義(1年生 約390名) -国際援助論- 「アフリカ乾燥地域の現状とその対策」	講師	(菅川)

理事・正会員総会の開催

4月20日、「緑のサヘル」東京事務所において、今年度の「理事・正会員総会」が開催されました。この会議には、当団体の運営に責任を持つ正会員、理事・監事等の役員が出席し、2018年度のプロジェクトに対するチェックと承認、2019年度プロジェクトに対する検討と決定が行なわれました。以下はその要旨です。

【2018年度の活動と収支】

「小学校緑化」は10校において、計450本の苗木を植栽しました。「村落植林」は8村が実施、計18,590本を植栽しました。「食糧増産」は3村が実施、石堤を設置した耕作地、堆肥を入れた耕作地とも収穫を増やすことが出来ました。「収入向上」は3村が家畜飼育と搾油活動、1村が養蜂に取り組み、各々の利益で家計を大きく改善することが出来ました。

収支においては、ここ数年続いている会費・寄付の低迷、民芸品・カレンダー販売の不振による収入減少に歯止めを掛けることが出来ず、昨年度に続く単年度赤字を計上してしまいました。これにより、前年度からの繰越金も減少することになりました。

【2019年度の活動と収支】

「小学校緑化」は10校を維持、計450本の苗木を植栽します。「村落植林」は、7村が計8,100本の植栽を実施します。「食糧増産」は今年も3村で、耕作地への石堤設置、堆肥作りと投入を行ないます。「収入向上」は3村が対象となり、家畜飼育と搾油活動を行なう計画です。また、このうちの1村は養蜂にも取り組む予定です。

収支においては、一般からの会費・寄付、企業からの活動委託の減少傾向が続くと考えられるため、昨年同様徹底した経費節減を行ないます。引き続き正会員、役員に積極的に関わりの必要とされており、ホームページやSNSの有効活用による新たな支援者の獲得、TシャツやCD教材の作製・販売、ハケ岳製品や出版物の委託販売、新たな古本・CDの買取・寄付システムの採用等により、活動資金の向上を図ります。



緑のサヘル 2019年 雨季キャンペーン

♪ さあ 雨季が始まります ♪♪

「緑のサヘル」が活動しているブルキナファソでは、雨季が始まろうとしています。雨季を迎えると、風景は一変します。木々は芽吹き、花々が一斉に咲き始めます。蝶や蜂が行き交い、厳しい乾季を乗り切った人々の表情も和らぎます。

☔☔ 雨に願いを込めて ☔☔

雨季は農繁期でもあります。年によって多少の違いはありますが、雨はだいたい6月から降り始め、10月上旬まで続きます。その間、人々は雨が涸れることなく順調に降り続け、豊作になることを願いながら、一日の多くを畑で過ごします。

ご協力をお願いします！

「緑のサヘル」は、今年も「雨季キャンペーン」(~7/31)を実施します。昨年行なった「2018年 雨季キャンペーン」では、おかげ様で12件53,000円のご寄付をいただきました。どうぞ皆様、今年もご支援のほど、よろしくお願いいたします。

ご支援は同封の振込用紙
(郵便振替口座 0012 - 7 - 419488) で！



よろしくお願いいたします！

ありがとうございました

* 敬称は略させて頂きました。

【 継続会員のみなさま 】

石山俊／瀬戸進一／清水貴夫／伊藤春男／碓井道子／大池良平／青山初穂／塩沢拓夫
菊地滋夫／鈴木久美子／藤巻晴行／石川祐一／岩永孝子／井上茂／稲葉洋子／那口真理子
大阪信愛女学院小学校／株式会社ホーム創建

【 ご寄付を頂きました 】

松田曜子／尾上素子／碓井道子／田中節朗／巨友子／高橋量平／今井奈津子／北川華子
國岡裕子／太田宜子／森田康子／木嶋清江／井山郁子／黒河内康／鈴木潤／佐貫眞木子
佐藤京子／小笠原弘子／加藤文子／加瀬洋子／石山俊／瀬戸進一／佐々木順平
大久保久美子／岩泉町立小川中学校 生徒会
かみひとねっとわーく事務局 蛭名健仁・加奈子／個別教育フォレスト 安多秀司
毎日新聞東京社会事業団／ショファイユの幼きイエズス修道会

他 匿名をご希望の方 4名

【 BOOK募金を通じてご寄付を頂きました 】

匿名をご希望の方 1名

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

岩泉町立小川中学校 生徒会
匿名をご希望の方 1名

上記は 2019年2月1日から4月30日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、5月1日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／国際ソロプチミスト大阪-中央
(独)国際協力機構(JICA)／(財)農村更生協会 八ヶ岳中央農業実践大学校
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(公財)イオン環境財団(環境活動助成)
緑の募金(管理団体:(公社)国土緑化推進機構)／(公財)国際緑化推進センター
アフリカ料理 トライブス／(特活)国際協力 NGO センター／(株)プレジャーワークス
(特活)環境アーリーナ研究機構／ソフトバンクつながる募金／(株)gooddo
LIFULL ソーシャルファンディング／環境メディアフォーラム有限責任事業組合

【 写真を提供しました 】

(株)日本入試センター 小学生対象学習塾「サピックス小学部」塾内教材
(株)東京書籍 新しい社会地理

「緑のサヘル」からお知らせ

「ブルキナファソを喰う！」 絶賛販売中

「緑のサヘル」と親交のある、アフリカ人類学者の清水貴夫氏の著書「ブルキナファソを喰う！」を、事務局でも販売しています。

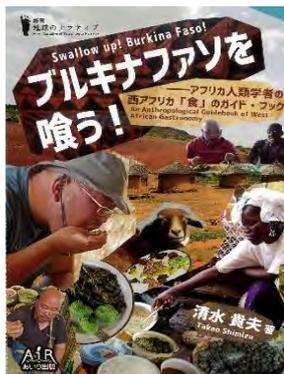
私達も知らない、魅惑的な「ブルキナごはん」が、現地の方とのエピソードを交えて紹介されています。これを読めば、ブルキナファソに行きたくなること間違いナシ！

料金：2,244円（税・送料込）

同封の振込用紙・お電話・FAX・メールで承っています。お気軽に御連絡下さい。

なお、著者の御厚意により、売上の一部が「緑のサヘル」の寄付になります。

皆様からの御注文、心よりお待ちしております！！



【 もくじ 】

- | | |
|----------------|---------|
| 1・表紙 | 5・国内活動 |
| 2・ブルキナファソ活動地域図 | 6・事務局より |
| 3・ブルキナファソから 1 | 7・ありがとう |
| 4・ブルキナファソから 2 | 8・お知らせ |
| チャドから | |

< スタッフよりひと言 >

- 玄関わきの空きスペースに、アサガオや青シソがたくさん芽を出してきました。どれも、去年のこぼれ種子からです。季節が変わりましたね。（岡本）
- 4月に兵庫県、5月に富山県で講演をさせていただきました。東京にいるとなかなか実感出来ない、それぞれの春を満喫させてもらいました。（菅川）
- 緑のサヘルのTシャツを製作中です。モチーフはホロホロ鳥に決定。連なって歩く姿は愛嬌があってかわいいです。どんなデザインになるかはお楽しみに！（本所）
- ただいま早朝の庭しごとを満喫中。手鎌（愛称ちゃんちゃん）を持ちながら、ブルキナベのザイ作業を思い浮かべ、気持ちでシンクロしています～一仕事終了後の朝ごはんは、おいしい～（大谷）

ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

♪ メニューがリニューアルしました ♪

ハケ岳農場の特産品

「ハケ岳中央農業実践大学校」の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々。おなじみのチーズ・アイスクリーム・カレーに、卵・乳製品が加わりました。送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに
定価の20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。

00120-7-419488「緑のサヘル」

お振り込みからお届けまで10日程かかります。

		関東 北陸 南東北	信越 中部	関西 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	4,644	4,752	4,860	4,968	5,076	5,616	
B	3種アイス 10個	4,968	5,076	5,184	5,292	5,400	5,940	
C	アイス6個	3,564	3,672	3,780	3,888	3,996	4,536	
D	チーズ3種	4,536	4,644	4,752	4,860	4,968	5,184	
E	カレー2箱/ チーズ5種	6,048	6,156	6,264	6,372	6,480	7,020	
F	ヨーグルト/ 牛乳	2,916	3,024	3,132	3,240	3,348	3,888	
G	カレー6箱	4,320	4,320	4,536	4,644	4,752	5,292	
H	青卵12個/ ジャム2種	3,996	4,104	4,212	4,320	4,428	4,968	
I	赤卵30個	1,728	1,836	1,944	2,052	2,160	2,700	
J	アイス20個	7,668	7,776	7,884	7,986	8,100	8,964	

※カレーは、スタンダードの一種類です。

内容の詳細をご希望の方は、事務局まで
ご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie!

Vol.78

編集 岡本敏樹 菅川拓也 本所雅佳江 大谷恵美 /印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 (特活) 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 NASビル3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041